



建築人

8

2019



大阪ホンマもん

建築人

8
2019

目次

2 大阪ホンマもん

4 インフォメーション・事業案内

6 動静レポート

7 Topics

8 Gallery 建築作品紹介

社会福祉法人玉川学園 玉川学園高野公園保育園

設計・監理 徳岡設計 施工 西田工業

ふじしろ幼稚園

設計 アバクス・アーキテクト 施工 越智工務店

Fodor 戸屋

設計 置塩淳夫建築設計事務所 施工 栗本建設工業

11 記憶の建築 松隈 洋

日本工芸館 一九六〇年

浦辺鎮太郎の出発点

14 理事会報告 建築相談室から 編集後記

AIと建築と情報委員会

情報部門長 飯田 英二



二〇一五年頃から始まったAIブーム。建築業界は製造業と比べてICTの導入がなかなか進まなかったものの、近年になりAIがICT化した建築業界を支援するようになってきました。「AIなんぞに設計の仕事が出来るはずがない」とか、逆に「AIに仕事を全て奪われる」といった極端な意見はだんだんと少なくなり、「使えるAI」をいかに実務に役立てるかに焦点が移ってきています。

ひと昔前の情報委員会では建築材料・設備機器メーカーリストや建築雑誌の目次、記事の照会など、いわゆる情報「検索」の部分で会員の皆さまにサービスを提供していました。あの黒の分厚いメーカーリストは当時は大好評で、ペラペラと頁をめくりながらあちこちのメーカーに電話をしていた方も多いのではないのでしょうか。しかしながらインターネットの普及につれてその役割も大きく変化し、現在ではホームページやメール、SNSを使った情報「発信」サービスへと変わりつつあります。

これからは前述の「AIと建築」という視点から最新の情報、実務に役立つ情報をみなさまと共有できるような場を目指して頑張っていきたいと思えます。もちろん紙媒体としての「建築人」も引き続き、よろしく願っています。

大阪ホンマもん解説

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

大阪市都島区に鉄筋コンクリート造の古めかしいアパートがある。この愛らしい「トヨクニハウス」を取りあげる。

このアパートは昭和七年に（一九三二年）産声を上げた。アパートとしての構成は一棟の住戸数を四戸とし、全部でA～F棟の六棟が建てられた。建物は二階建て、構造は鉄筋コンクリート造とされ、建物の中央に階段が設けられ、左右対称形とされた。

竣工当時は、戦前期の民間賃貸アパートとしては高級な住まいで、陸軍の将校らも暮らしていた。戦後には、居住者に払い下げられて分譲アパートとなった。近い時期に、同じ鉄筋コンクリート造で建てられたアパートには、大阪市内では軍艦アパートと呼ばれた市営下寺住宅（昭和五年―平成一八年）、東京都内では同潤会上野下アパート（昭和四年―平成二五年）などがあるが、残念ながらいずれも現存していない。

このトヨクニハウスは、現在では三棟のみ残っており、街角の風景を和ませてくれている。また、A棟の一階にはカフェが営まれており、住まい利用以外の展開もされている。

背景は違うが、東京都内に日本最初期の鉄筋コンクリート造で建てられた学生寄宿舎の求道学舎がある。オーナーでもある建築家の近角真一氏はこの建物を、「六二年の定期借地権によるコーポラティブハウス」で再生させている。求道学舎と共に、日本ではまだ前人未到の二〇〇年集合住宅を目指して歩んで頂きたい。

講師 武谷建具(堺市)
定員 30名(定員に達し次第締切)
受講料 会員1,500円 会員外2,000円
学生500円

「大阪湾の津波・高潮対策を考える(2)」 安治川アーチ水門試運転見学会

10/1 CPD2単位(予定)

前回は西大阪地域の防災拠点「津波・高潮ステーション」を見学しましたが、今回は安治川河口のアーチ水門の試運転を見学します。そう遠くはない南海地震の時、大阪湾よりの津波はどの程度に想定されているのか?食い止める事が出来るのか?どの様に食い止めるか?を見てみませんか。大阪市の防潮対策を教えていただきます。

日時 10月1日(火) 受付13:15～
見学会13:30～15:30
会場 安治川アーチ水門施設
(大阪市港区弁天6丁目3-13)
定員 20名(申込先着順)
参加費 会員1,000円 会員外1,500円

木造建築とまちづくり:木でつなぐ、 木をつなぐ 伝統をつなぎ、木造の まちなみを連続させていく方策

10/5

「木造建築とまちづくり」をテーマに、伝統建築物や中大規模木造建築をいかに地域活性化や次世代のまちづくりに活かし継承していくかをともに考えます。日本建築士会連合会会長 三井所清典氏の著書「生業の生態系の保存 その建築思想と実践」の出版記念を兼ねた特別事業です。

共催 (一社)大阪府木材連合会 関西広域
木造建築普及促進協議会
日時 10月5日(土) 13:30～17:00
会場 大阪市立阿倍野市民学習センター
参加費 会員2,000円 会員外3,000円
学生および本年度入会会員1,000円
講演 伝統建築の保存と日本の木工技術
講師 矢ヶ崎善太郎
(大阪電気通信大学教授)
地域でつくる中大規模建築の実践と課題
(連合会 三井所会長の著書第2章タイトル)
講師 三井所清典
(日本建築士会連合会会長)
トークセッション まちの宝物を活かして次世代に繋ぐ
上記講師+モデレーター
中嶋節子(京都大学教授)

第63回大阪建築コンクール 受賞者講演&トークセッション

10/18 CPD2単位(予定)

大阪建築コンクールは、建築士と社会との関わりを通じて建築作品を評価し、そのすぐれた実績をたたえ、建築作品の設計者である本会会員を表彰するものです。第63回を迎えた今回、大阪府知事賞および渡辺節賞の受賞者による講演会を企画いたしました。

受賞作品のお話はもちろん、建築に対するそれぞれの思いを語っていただきます。また、審査委員とのトークセッションやパネル等の展示も行います。

日時 10月18日(金) 19:00～20:40
会場 大阪工業大学梅田キャンパス203
大阪市北区茶屋町1-45
参加費 無料(申込不要)

木の本質を学び森と水の恵みを考 える研修ツアー

10/19、10/20 CPD8単位

吉野林業発祥の地 川上村にて木材の川上から川下までを学ぶ見学バスツアーです。380年人工美林を体験し、200年杉伐倒見学、巨大ダム内部見学、吉野杉の家見学など盛りだくさんな内容です。川上村企画サポートによる自然を堪能するツアーです。

日時 10月19日(土) 10:00
大和上市駅集合(時間厳守)
場所 奈良県川上村にて
定員 35名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員22,000円
後援団体会員24,000円
一般26,000円

世界文化遺産「百舌鳥・古市古墳群」ツアー ～堺市・羽曳野市・藤井寺市の世界文化遺産 「百舌鳥古市古墳群」を巡る～

10/26 CPD3単位(予定)

堺市・羽曳野市・藤井寺市に跨る大阪府唯一の世界文化遺産「百舌鳥・古市古墳群」を、建築やまちづくりに関わる建築士と様々な分野の方が一緒に巡り、交流を深めるとともに、地域の活性化に向けた建築からのソーシャルデザインの探求に向けて、各地域の古墳の特徴や歴史を学びます。

日時 2019年10月26日(土)
8:00もしくは9:00～17:00
(バスと徒歩で移動)
集合 下記より選択
8:00堺市役所本庁正面玄関
9:00近鉄土師ノ里駅前
行程 応神天皇陵古墳拝所、菅田八幡宮、仁徳天皇陵古墳VR体験・拝所、堺市役所展望ロビー
参加費 会員3,000円 会員外4,000円
昼食代別途1,400円
定員 50名(申込先着順)

事務局からのお知らせ

夏季休業のお知らせ
下記日程を夏季休業とさせていただきます。
8月13日(火)～15日(木)

Administration

行政からのお知らせ

大阪市消防局からのお知らせ 建物の増改築等の際の消防法違反について

テナント入居や建物の増改築により、知らない間に消防法違反となっている場合がありますので、これらをお考えの方はまずは消防署に相談してください。

HP [大阪市テナント入居](#) [検索](#)

「第18回堺市景観賞」推薦募集 7/1～8/30

堺市内の優れた景観に資する建築物や工作物、屋外広告物などを表彰・認定します。

募集期間 7月1日(月)～8月30日(金)
推薦対象
概ね15年間(平成16年4月から令和元年6月まで)に新設、補修、改修等を行い完成した下記のもの
①建築物等部門(ビルやマンションなどの建築物、橋りょうなどの工作物)
平成16年4月から令和元年6月までに新設、補修、改修等したもの
②小規模建築物部門
平成16年4月から令和元年6月までに新設、補修、改修等したもの
③歴史的建造物部門
昭和25年以前に建築したもの
④景観活動部門
⑤まちなみ部門
⑥堺すてきサイン(屋外広告物)
問合 堺市建築都市局都市計画部都市景観室
Tel.072-228-7432
※詳細は堺市HPをご覧ください。

大阪広域水道企業団職員採用選考 【職務経験者／建築】の実施

受付期間8/1～8/21

大阪広域水道企業団では、建築職の募集を行います。当企業団は大阪市を除く府内42市町村で使用される水道水の約7割を供給している一部事務組合(特別地方公共団体)であり、身分は地方公務員です。

受付期間 令和元年8月1日(木)～8月21日(水)
職務内容
本部又は出先機関(浄水場、事業所等)勤務となり、水道事業及び工業用水道事業に係る建築工事の設計及び施工管理並びに施設の維持管理に関する業務(土木工事の設計及び施工並びに施設の維持管理に関する業務にあたることもあります。)
第1次選考日 令和元年9月28日(土)
問合 大阪広域水道企業団経営管理部
総務課人事グループ

Tel.06-6944-6046
受験資格等詳細は、大阪広域水道企業団採用情報ウェブページをご覧ください。

Others

その他のお知らせ

地盤工学会関西支部第9回若手 セミナー ～地盤工学の基礎講座～

8/22

若手技術者・研究者が関心を持つテーマを題材に勉強会形式で継続的に学習できる内容とし、意見交換によって交流を図ることを目的として開催しています。第9回は、「地盤災害」に着目して、京都大学防災研究所の上田恭平先生に講義をいただくとともに、セミナー参加者の希望者より話題提供(業務・研究発表など)をいただく予定です。

主催 (公社)地盤工学会関西支部
日時 8月22日(木) 16:00～19:30
会場 ドーンセンター4F大会議室
大阪市中央区大手前1-3-49
最寄駅 京阪電車天満橋駅
大阪メトロ谷町線天満橋駅
定員 50名(先着)
参加料 3,000円
申込締切 8月15日(木)
問合・申込 (公社)地盤工学会関西支部
Tel.06-6946-0393

第3回片岡安賞(日本建築協会論 考コンクール)

日本建築協会100周年を機にスタートした論考コンクールも3年目を迎えました。今年度も第3回目の論考の募集をします。

主催 (一社)日本建築協会
募集テーマ 建築におけるダイバーシティとは
審査方法
全審査委員による査読の上、一次審査を行う。一次審査により選出されたものを対象とし、公開プレゼンテーションを開催する。その後最終審査を行い、受賞論考を決定する。
執筆要領 頁数は、会誌『建築と社会』掲載時4頁(12,000文字程度)。
応募締切 10月31日(消印有効、電子投稿の場合23時50分)
提出先 (一社)日本建築協会
Tel.06-6946-6981
※詳細は、日本建築協会HPをご覧ください。

Sponsorship

建築士会からのお知らせ

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。

不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。

スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞ活用ください。

(業務内容)
耐震診断報告書の審査、評価
耐震補強計画書の審査、評価等
(対象建築物)
公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。

(会員特典)
申込者又は診断等実施者が本会会員の場合、評価手数料の10%割引があります。

大阪府知事指定講習 既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《一般診断法》 9/4・12/4 CPD5単位

本講習会修了者は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断等の補助を受けることができる技術者として名簿に掲載します。(本講習会は、国土交通大臣登録講習ではありません。)
日程 ①9月4日(水) ②12月4日(水)
時間 10:00～15:50
会場 大阪府建築健保会館6階ホール
最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車
定員 各100名(定員になり次第締切)
受講料 会員5,000円 会員外9,000円
テキスト代 7,200円(2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法)

大阪府知事指定講習 既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《限界耐力計算法》 8/2・1/29 CPD6単位

既存木造建築物の限界耐力計算法による耐震診断は、一般診断法が建物の強度を評価するのに対して、建物の強度だけでなく、減衰性能も評価することができる診断法です。この機会に限界耐力計算法の技術を修得され、今後の業務に活用されますようご案内いたします。
日程 ①8月2日(金) ②1月29日(水)
時間 9:30～16:00
会場 大阪府建築健保会館6階ホール

最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車
定員 各120名(定員になり次第締切)
受講料 会員6,000円 会員外8,000円
テキスト代 4,000円(大阪府木造住宅の限界耐力計算による耐震診断・耐震改修に関する簡易計算マニュアル)

令和元年度大阪府ヘリテージマネージャー育成講座(全10日間) 8/24・9/7・9/28・10/5・10/12・11/2・11/16・12/7・12/21・1/18 CPD1日4単位(予定)

本講座は、文化庁の補助を受け、大阪府のさらなる歴史文化遺産を発見し、既に指定されている文化財建造物や登録文化財等の活用と保存を推進し、まちづくりに活かす能力を持った人材“ヘリテージマネージャー”を育成することを目的に行う講習会です。全10日間の講座(講義時間数は例年通り合計40単位)で歴史、修復技術、実測実習、保存活用などの基礎を学びます。
日程 8/24・9/7・9/28・10/5・10/12・11/2・11/16・12/7・12/21・1/18
時間 各13:00～17:00(8/24は17:30まで)
会場 芝川ビル、綿業会館、大阪府立中之島図書館ほか
募集 20名(申込先着順)
受講料 会員25,000円 会員外30,000円
申込は本会ホームページからWEB申込してください。

2019年度監理技術者講習 (監理技術者以外の方も受講可能) 9/4、11/13、1/23、2/7、3/4 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講下さい。
日程 9/4(水)、11/13(水)
1/23(木)、2/7(金)、3/4(水)
時間 8:55～17:00
会場 大阪府建築士会会議室
定員 各回30名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込み9,500円
郵送申込み10,000円
申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

改正民法が建築士業務に与える影響等に関する説明会 ～2020年4月施行、改正民法による変化への対応を解説したDVD講習会～ 9/12 CPD2単位

2020年4月に施行され運用が開始される改正民法が建築業界に及ぼす影響について設計監理契約の側面から、そして工事請負契約の観点から弁護士等の先生方に解説して頂いた内容のDVD講習です。現時点で想定される問

題とそれらへの対応、今後の見通し等について解説いたします。
日時 9月12日(木) 14:00～16:30
会場 大阪府建築士会 会議室
定員 60名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員2,500円
後援団体会員3,500円
一般4,500円

建設工事の安全・健康確保講習会 ～大阪府工事入札(実績申告型)の評価点追加対象講習会～ 9/13、11/8、12/13、2/12 各日CPD3単位

本講習会では、設計、施工等の各段階における安全・健康確保の措置や、建築労働者の意識向上を図る取組み方法について講習を行います。労働災害防止に関する対策を推進することにより、建築労働者の安全と健康の確保を目的としております。ぜひご受講頂いただき、安全と健康の確保にお役立てください。
日時 9/13(金)、11/8(金)、12/13(金)、2/12(水)
13:30～17:05
会場 大阪府建築士会会議室
定員 60名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員3,000円/回
後援団体会員4,000円/回
一般5,000円/回
(4回通し受講)
建築士会会員10,000円
後援団体会員14,000円
一般18,000円

令和元年度建築士定期講習 9/19、10/28、11/28、12/17、1/30、2/25、3/26、3/31 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成28年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。
日程・会場・定員
9/19(木) 大阪国際交流センター 200名
※10/28(月) 大阪国際会議場 200名
11/28(木) 大阪府建築健保会館 90名
※12/17(火) 大阪府建築健保会館 90名
1/30(木) 大阪府建築健保会館 90名
※2/25(火) 大阪YMCA会館 200名
3/26(木) 大阪YMCA会館 200名
3/31(火) 大阪府建築健保会館 90名
時間 9:15～17:00(各講習日共)
受講料 12,960円(消費税含。事前振込)
申込書配布場所
大阪府建築士会及び大阪府建築士事務所協会事務局又は、建築技術教育普及センターHPからダウンロード(平成28年度受講者には、直接申込書を郵送しています。)
申込方法
上記事務局へ持参又は簡易書留による郵送
受付場所(送付場所)

※印の日程 大阪府建築士会事務局
※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局
建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。
注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

建築課外授業Vol.4 童謡の故郷「龍野」旧城下町とうすくち醤油資料館見学 8/3 CPD4単位

童謡赤とんぼの里、白壁と醤油蔵がつづく小さな城下町「播磨の小京都」龍野を訪ねます。うすくち竜野醤油資料館から損保乃糸資料館を見学しそうめんの里で本場そうめん料理をいただきます。昼からは醤油蔵の続く街並みや白壁の美しい武家屋敷通りを街歩きします。
ぜひ、ご参加下さい。
日時 8月3日(土)
9:15 JR姫路駅 集合
16:00 JR本竜野駅 解散
定員 40名(申込先着順)
参加費 会員2,500円 会員外3,000円
※交通費:本竜野～東薮崎 往復、資料代・昼食代 含む。

住宅を設計する仲間達 オープン勉強会 住宅の庭のつくり方 ～プランニングから水やり方法まで～ 8/29 CPD2単位(予定)

一戸建ての住宅の魅力の一つに「庭」の存在があります。屋内の場をつくる建物と同様に屋外の場をつくる庭は、住宅にとって重要な要素の一つだといえます。しかし、芝生にシンボルツリーの定番の庭では、創意工夫された建物の魅力も半減。そこで、今回は知っているようで良く知らない「庭」の知識を深めていただけるような勉強会を企画しました。ぜひこの機会に、日頃抱いておられる庭や植栽に関する疑問を払拭していただきたいと考えています。
“住宅を設計する仲間達”登録者のスキルアップ企画ですが、“オープン勉強会”ですので、建築士会内外の皆様もご参加いただければ幸いです。
日時 8月29日(木) 18:30～20:30
会場 大阪府建築士会会議室
定員 50名(申込み先着順)
参加費 会員1,000円 会員外1,500円
※住宅仲間達登録者は登録料に含む

襖・表具屋さんの話 9/28 CPD2単位(予定)

地域委員会建築士の会南河内では和風住宅建築について、職人シリーズ第6弾「襖・表具師」講習会を開催します。世界に類を見ない間仕切り襖、環境破壊のない素材でできた、古くは伝統工芸、そのうえに絵画なども描かれました。建具屋さんのお話を聞いて、木造住宅の新たな発見と可能性を学びます。
日時 9月28日(土) 18:15～20:30
会場 松原ゆめニティプラザ3階多目的ホール

会長動静

- 7/ 4 近畿建築確認検査協会総会
- 7/ 5 箕面市副市長面談
- 7/ 8 大阪市都市整備局長・計画局長面談
日本国際博覧会協会に提言書説明
- 7/ 9 大阪府収用委員会
- 7/11 羽曳野市長面談
- 7/12 運営部門会議
- 7/13 全国女性委員長会議
- 7/16 豊中市市長面談
- 7/17 理事会・正副会長会議
- 7/18 藤井寺市長面談
在阪建築4団体会長・支部長会議
- 7/20～21 長野県建築士会と交流会
- 7/23 大阪府収用委員会
- 7/26 松原市都市整備部長面談
日本建築材料協会と交流会



(右)
柿谷武志
箕面市
副市長



(左)
篠原 祥
大阪市都市
整備局長



(右)
角田悟史
大阪市都市
計画局長



(右)
北川嗣雄
羽曳野市長



(右)
長内繁樹
豊中市市長



(右)
岡田一樹
藤井寺市長

運営部門

まちづくり提言書を日本国際博覧会協会に説明

在阪建築4団体の会長・支部長及び徳岡委員長は、関西の活性化を目的として4会共同で作成した「ARCHI-4 KANSAI 提言書」を、7月8日に（一社）2025 日本国際博覧会協会を訪れ、梅村宏尚整備局長にお会いして説明を行いました。

懇談では、提言書はまちづくりの要素を‘つなぐ’方策について意欲的にまとめられており、会場の舞洲にどのような‘まち’を創るのかを考える参考になると評価していただきました。

建築4団体からは、万博開催に向けた建築実務でも積極的に協力する考えを伝え、万博計画やその後の活用も含めて協力体制を築きたいと申し出ました。

なお、提言書は本会ホームページから閲覧していただくことができます。



日本国際博覧会協会（前列）と建築4団体の皆様

運営部門

令和元年の二級建築士学科試験を実施

本年の二級建築士学科試験が7月7日に全国一斉に実施され、大阪は近畿大学東大阪キャンパスにおいて、本会が実施運

営を担当しました。

本年の受験者数は、全国で19,389名、大阪で1,551名、昨年に比べて全国で168名減少し、大阪では17名増加しました。また、設計製図試験は、9月15日に近畿大学において「夫婦で営む建築設計事務所を併設した住宅」の課題で実施します。

社会貢献部門

歴史的建造物マップ「堺・泉州北部」作成の進捗状況

ヘリテージ委員会の大阪府ヘリテージマネージャー協議会では、文化庁補助事業として、大阪府を7地域に分け、歴史的建造物マップを順次作成しており、今年度は世界遺産に登録されたエリアを含む「堺・泉州北部」を対象として、重要文化財・登録文化財・市町村指定文化財の他、まちなみ・景観・史跡などを候補に、選抜作業に入っています。推薦情報があれば、ご一報下さい。

運営部門

長野県建築士会と交流会を開催

本会与長野県建築士会は、NHK大河ドラマ「真田丸」の放映を機に協定を結んで、士会活動・運営の情報交換や相互訪問を行っており、長野県建築士会は今年4月に一般社団法人から、かねてより念願の公益社団法人に移行されました。今年度最初の交流企画として、7月20日～21日に長野県松本市において、懇談会と交流ゴルフコンペを行い、本会からは岡本会長をはじめ8名、長野県建築士会は荻原会長をはじめ11名が参加しました。台風の接近で天候が心配されましたが影響は無く、さわやかな信州の高原で互いの一層の友好を深めるとともに、今後も交流を続けて行くことを確認しました。



交流会に参加された皆様

「本徳寺・本堂改修工事見学会」

日時：令和元年6月22日（土）14：00～16：00 会場：本徳寺 参加者：14名



木村吉男（地域委員会担当理事）

建築士の会「いずみ野」は、本会会員で和泉市、泉大津市以南岬町までに在勤もしくは在住の方を対象に平成元年から地域に根差した活動を行っており、先日、令和元年度の総会と併せて見学会を実施しました。見学先は岸和田市五軒屋町にある明智光秀ゆかりの寺、本徳寺を訪ねました。

本徳寺は光秀の肖像画を所有する全国唯一の寺で、学校の教科書に出てくる肖像画はこの寺のものと言われています。また、光秀は令和2年のNHK大河ドラマの主人公で、ドラマに先駆けての見学と講話を聞く機会を設けた次第です。講話をお願いしたのは泉佐野の歴史と今を知る会の井田寿邦さんで、演題は「明智光秀、そして泉州」でした。

光秀の青年期までの話、織田信長との出会い、本能寺の変等の逸話を伺いました。特に面白かったのは、宣教師フロイスが書き記した光秀の人物評価で、才路、深

慮、狡猾さにより信長の寵愛を受け、戦争においては計略の達人であり、築城に造詣が深く優れた建築手腕の持ち主であったそうで、大河ドラマでどのように描かれるのか楽しみです。

本徳寺の由来については諸説ありますが、岸和田市のホームページでは次のように紹介されています。光秀の子南国梵桂が建立したと伝える臨済宗寺院。もと貝塚市鳥羽にあった海雲寺が、岸和田藩主岡部行隆の命で現地に移され、寺号も本徳寺と改められました。

現在、本徳寺は来年春の完成を目指し建替え工事中です。工事施工者は京都市の株式会社上宗建設で、工事課長の川瀬さんに案内して頂きました。現場は棟上げが完了した段階で、小屋組や軸組が確認できました。足場が設けられており、軒組なども間近に見ることができ、参加者はそれぞれ興味のあることを質問されていました。

今回は一般市民の方も参加され、講話・見学会・懇親会とも盛況に終わりました。いずみ野の役員体制も若手中心に移行し、30年以上に亘る活動や人的ネットワークを生かしながら魅力ある行事を実施し、地域の建築士の交流が益々盛んになることを期待します。今後とも地域活動へのご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。



本徳寺・本堂改修工事現場

木造建築の現状と技術的可能性

日時：令和元年7月6日（土）13：30～17：00 会場：林野庁 近畿中国森林管理局 参加者：45名



規工川和史（青年委員会担当理事）

近年の木造建築は中大規模、耐火木造と様々な技術革新を遂げています。

本セミナーは、そんな木造建築の現状と技術的可能性について先端で活躍される3名の講師の方々からお話をお聞きし、今後の木造建築の今と可能性を学ぶセミナーです。

まずは、京都大学生存圏研究所五十田博教授より講演頂き、中大規模木造建築における国内と海外の違い、無理に木造にしないCLTを使った混構造建築事例、これからの木造建築の可能性についてご自身の研究事例も交えお話頂きました。最後は鵜飼と鵜を使った比喻表現で、参加者の方々へのユーモアある激励も頂きました。

次に、カナダ林産業審議会日本代表

ショーン・ローラー氏から、世界の中大規模木造建築の現状と、技術（CLT、NLT、集成材）について、また、今後の将来展望について講演頂きました。

豊富な森林蓄積量を持つカナダ、現在では中層以上の木造建築の計画が500棟以上進行している。また、隣国アメリカでは、2021年に18階建の木造建築が可能になっているなど、海外のリアルな現状と技術革新を事例と数値的データも交えお話頂きました。

最後に、SMB建材株式会社木構造事業本部長兼木構造建築部長小川嘉男氏より、実際の現場の技術として、GIR接合を使ったCLTによる中大規模木造建築工法について、最新施工事例を交えお話頂きました。

3名の講師の方々のお話をお聞きし、従来の木造建築の考えでは、想像できない現状に驚きましたが、中大規模木造建築の国内と国外の違い、今後の変化、そして大きな可能性を知ることが出来る講演会でした。





玉川学園高野公園保育園は、都市公園に建つ木造・平屋の保育所です。木の温もりが感じられる現しの木造梁、トップサイドライトからの自然採光・通風により、心地よく一日を過ごすことができます。保育室とつながる屋外テラスや芝張り真砂土の園庭では、公園の豊かな自然を感じながら過ごすことができ、生物を観察できる池、砂場、季節の花や果実を楽しめる植栽を配置して「豊かな人間性を持った子どもを育成する」という保育方針を実現する環境づくりを心がけました。園舎は起伏のある敷地に溶け込む土壁状の外壁と、高さを抑え分割したリズムを持つ勾配屋根を採用し、公園との調和を図りました。（藤城義丈・松岡志延／徳岡設計）

所在地：大阪府吹田市
用途：保育所
施工：2019.03
構造規模：W造・2階
敷地面積：2,991.68㎡
建築面積：1,338.82㎡
延床面積：1,424.59㎡
写真：母倉知樹



吹田市の北千里駅近く、三色彩道と呼ばれる道路に面した緑の多い恵まれた環境にある「ふじしろ幼稚園」。2010年に大規模な建て替え工事を行い、今回は残りの園舎4室の耐震改修工事です。鉄骨の耐震補強ができるだけ目立たない方法で強度を確保しています。

また、今まで有効利用されていなかった斜面にテラスを設けその延長に子供達が回遊できるアスレチック施設を造りました。既存の樹木を利用した、自然と一体となった遊具です。遊具で遊ぶ子供たちの姿と歓声が街を通る人たちに笑顔と元気を与えてくれたらと思います。

(栄 隆志)

所在地：大阪府吹田市
用途：幼稚園
竣工：2019.03
構造規模：混構造
地上2階
敷地面積：6,545.01㎡
延床面積：352.75㎡
建築面積：369.39㎡
構造設計：明興コンサルタンツ 沼田明樹
写真：笹倉洋平
事務所提供(★)



敷地は芦屋川に近い駅前通りに面します。上階からは南西に神戸方面への眺望が広がり、立地を活かした建物にすることが事業主の要望でした。限られた敷地に立つテナントビルのため、共用部の極力小さい平面構成としました。エレベーターを二方向出入口とし、地上から共用部を介さず各階占有部へアプローチします。北面と東面を斜線制限のためセットバックさせて、その隙間に屋外階段を螺旋状に配置しました。ファサードは眺望を確保するためカーテンウォールとし、間口方向を分節しないようエレベーターコア部もダブルスキン状にガラスで被覆しました。視認性が高い立地で、透明感のある、内部の活動が街にあらわれる建築を目指しました。

所在地：兵庫県芦屋市
用途：店舗・事務所
竣工：2019.03
構造規模：RC造5階
敷地面積：86.03㎡
建築面積：63.35㎡
延床面積：273.92㎡
写真：松村芳治

もう間に合わないかもしれない。そんな切羽詰った焦燥感から、二〇一九年五月下旬、せめて外観だけでも見ておこうと思いい立ち、大阪浪速区の難波駅から約五〇〇m南の現地に立寄った。それが、浦辺鎮太郎（一九〇九〜一九九一年）の設計によって、一九六〇年に竣工した日本工芸館である。昨年五月末に休館し、老朽化による建替え計画のために、取り壊しが予定されていた。訪れると、すでに内部の解体工事は進んでいたものの、外観はかろうじて原形を保っており、最後の姿を見届けることができた。周囲には高層ビルが立ち並び、有名なバーツンの絵本『ちいさいおうち』のように、その谷間で静かな時を重ねてきた建物の力強い寡黙なたたずまいが印象的だった。

今秋に倉敷アイビースクエア（一九七四年）で開催が予定されている生誕一一〇年「建築家・浦辺鎮太郎の仕事」展の準備に携わる中で、不勉強にも、遅まきながら、浦辺の代表作の倉敷国際ホテル（一九六三年）につながるこの建物の存在を初めて知った。驚いたのは、国際ホテルの外観を特徴づける壁庇と呼ばれる帯状に外壁から斜めに伸びる屋根のような独特な造形が、日本工芸館ですでに試みられていたことである。しかも、この壁庇は、すでに取り壊されて現存しない石井記念愛染園の女子单身者住宅（一九六一年）や保育所（一九六二年）、病院（一九六五年）にも用いられており、言わば浦辺建築の主要な造形モチーフであることも知らなかった。この造形に何が託されていたのか。今回は、その成り立ちと意味を振り返って記録しておきたい。

日本工芸館は、同館の記載によれば、日本の「伝統的工芸品（民芸）の保存・育成と普及」を目的として、一九五〇年に、大

阪市北区堂島に残存していた江戸時代の米蔵を改造して開館し、一〇周年を記念して現在地に浦辺の設計により新築移転された。設立者は、大阪の民芸運動の推進者で、有名な焼肉のステーキ本店の経営者でもあった三宅忠一（一九〇〇〜八〇年）である。一方、当時の浦辺は、倉敷レイヨン営繕部長という立場にいた。後に、設計の経緯について、浦辺は次のように回想している。

「大原総一郎（一九〇九〜六八年）という

記憶の建築

松隈 洋

日本工芸館 1960 年
浦辺鎮太郎の出発点



東側の正面外観。均整の取れた立面。



外観の詳細。庇壁表面は縦溝が刻まれている。

（浦辺鎮太郎「美と経済と徳と」『日本の民芸』二六八号・日本工芸館三〇周年記念号）
文中に「建築技師としての最後の設計」とあるように、この日本工芸館をきっかけに、浦辺は一九六二年に倉敷建築研究所を設立して独立し、建築家として歩み始める。その意味で、この建物は彼の建築家としての出発点に位置する記念碑的な意味を持っていた。それでは、その特徴でもある壁庇は、どのようにして発想されたのだろうか。

戦前の学生時代（一九三〇〜三五年）に、自邸の実験住宅「聴竹居」を竣工させた直後の若い助教授の藤井厚二（一八八八〜一九三八年）が教えた庇の持つ雨露を凌ぎ、日照を調整できる合理的な機能性を、浦辺は鉄筋コンクリート造に活かすことによって、独自の造形を作り出したのである。また、この建物では、ル・コルビュジエの発明した空間尺度「モデュロール」をヒントに、独自に考案したKM（倉敷モデュール）が平面と立面の寸法単位として初めてコンクリート造の建物で使われた。竣工時に、浦辺は、次のように説明している。

「コルビュジエはModulorでどんな歌でもうたいあげている。（中略）Modulorは人体寸法に原点をおいているからこそ空間の音階たりえた。（中略）利休は京間の六尺三寸（私はそれを一九二〇×二×九六〇mmと解釈している）をタテにしヨコにしあるいは割って、彼の建築空間から道具にいたるまでを形成する。一九二〇はコルビュジエの一八三〇のごとく人体の生理的寸法ではなくて人間の生活的寸法であるから、エレベーションにもプランにも使える。」（『新建築』一九六〇年十二月号）

後の座談会での次のような発言がある。

「私の大学のころに計画原論の開祖である藤井厚二さんという方がいた。この方は日本建築の気候調整の要点はひさしにあるということ、これが博士論文になった。その影響を受けて私が言っているひさしがつきだしたのです。」（座談会・瀬戸内風土記―瀬戸内文化圏／浦辺鎮太郎・山本忠司）

「建築士」一九七九年六月号）

注目されるのは、人体の「生理的寸法」から割り出されたル・コルビュジエのモデュロールを乗り越えて、倉敷モデュールでは千利休の用いた人体の「生活的寸法」を取り入れた浦辺の着眼点だ。こうして、日本工芸館が、その後の浦辺の建築の骨格を形づくる原点であったことが見えてくる。

松隈 洋

京都工芸繊維大学教授。博士（工学）。一九五七年兵庫県生まれ。一九八〇年京都大学卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。二〇〇八年十月より現職。

第12回 建築人賞

主催：公益社団法人 大阪府建築士会

公益社団法人大阪府建築士会では
本誌「建築人」の Gallery に掲載された建築作品を対象に
社会性、芸術性、時代性を考慮して、顕彰、公表することにより
建築技術の進展、建築文化の向上に資することを目的として
建築人賞を実施しています。

■ 審査委員長 乾 久美子



1969 大阪府生まれ
1992 東京藝術大学美術学部建築科卒業
1996 イエール大学大学院建築学部修了
1996～2000 青木淳建築計画事務所勤務
2000 乾久美子建築設計事務所設立
2000～2001 東京藝術大学美術学部建築科常勤助手
2011～2016 東京藝術大学美術学部建築科准教授
2016～ 横浜国立大学大学院Y-GSA教授

■ 表彰（設計者に対して）

建築人賞 （賞状と記念盾）

建築人賞奨励賞（賞状）

※建築主・施工者には賞状授与

■ 第12回 対象作品

「建築人」2019年1月号から2019年12月号まで
Gallery に掲載された建築作品

※建築種別、建築地を問わない。但し、竣工検査済証を受けたもの

■ 受賞発表

建築人 2020年7月号誌面（予定）

■ 問い合わせ

公益社団法人大阪府建築士会「建築人賞」係
担当／母倉 政美

TEL 06-6947-1961 FAX 06-6943-7103



建築人賞 記念盾 「未来へ！」

ガラスアーティスト 三浦啓子作

『建築人』 Gallery 掲載作品 募集中 2019

会報誌『建築人』では、Gallery に掲載する作品を
募集しています。

【掲載料】

カラー 2ページ 20万円

カラー 1ページ 10万円

詳しくは、公益社団法人大阪府建築士会『建築人』
Gallery 建築作品掲載係まで。

ユーザー対象の設計相談
住宅の設計者問い合わせ に対応する

登録者募集

(公社)大阪府建築士会 社会貢献部門 “住宅を設計する仲間達” 委員会

登録者の個人ページ・・・専用のホームページ内に作成可
建築士リスト・・・数カ所の機関に配架し、広報活動を展開
設計相談・設計例展示・・・大阪市立住まい情報センター等

専用ホームページ www.jutaku-nakama.com/
登録・問合せは (公社)大阪府建築士会 隅原まで
06-6947-1961 info@aba-osakafu.or.jp

住宅を設計する仲間達 建築士 リスト 2018-19

家づくりの

『住宅
大阪府
が得意な建
あなたにピッ
お問い合わせく

住宅を設計する仲間達
JUTAKU NAKAMA

トップページ

- 住宅を設計する仲間達とは
- 建築士に任せるメリット
- 具体的な流れ
- まんが ～家作りストーリー～
- 土地の選び方
- 住宅ローンについて
- 建築士を探す

建築士に任せるメリットは何?

お知らせ

- パネル展示 & セミナー @住まい
セミナー 3月5日
- 「建築家とつくる」
- パネル展示
- 「建築家とつくる」
- パネル展示 & セミ

ホームページの
抜粋版です

家づくりは、頼
「住宅を設計する仲間達」は、住宅を設
計するプロ（建築士 建築設計事務所）
の集まりです。3,000人が在籍する公益
社団法人大阪府建築士会は、住宅一歩の
設計・建築の専門家として、平成8年に「住宅
設計相談・設計例展示」を開設しました。

自然と住まいがやさしく調和することを心がけています。
風や光に季節を感じ、家族の一人ひとりにとって心地よく暮らせる住ま
いを“粋でおしゃれに”デザインさせていただきます。
吟味した杉で体がよるこぶ空気をつくり、子どもから大人まで 脳を元気
に健康で安全で安心して暮らせる家を丁寧につくらせて頂きます。

理事会報告

文責 本会事務局

日時 七月十七日(水) 十六時～十八時

場所 本会会議室

出席 理事三四名 監事二名

(1) 六月の当期経常増減額は、収入四、八七二、五七六円、支出一、一五七、〇六一九円、差引△七、六九八、〇四三円で、本年度累計の収支差引二七、一三四、八五八円を報告して承認されました。

(2) 大学在学生を対象とした表彰制度を設ける案について、運営体制や経費・協賛企業等の諸問題は今後の検討課題とし、表彰部門で発足準備を進める方針を承認しました。これにより、現在実施している優秀卒業生表彰と併せて本会と学生の関係が深まり、将来の会員増強に繋がることを期待しています。準備に際しては、他団体が行っている学生に対する表彰等と比較し、本表彰の独自性を確保することが重要としました。

(3) 本会が二月一八日に府から景観整備機構の指定を受けたことを契機に、古地図の活用等により、まちの成り立ちなどを学び、都市景観に関わる専門家を育成することを目的として、景観まちづくり建築専門家等育成講座を開催します。また、本講座に対する事業助成を日本建築士会連合会に申請することとし、これを承認しました。

(4) 本会の地域貢献活動の助成対象事業として、河内いえ・まち再生会議の「みんなのDIY講座・大工塾(実践編)」に一〇万円を助成することを承認しました。

(5) 修成建設専門学校から職業教育に係る専門技術等の向上を図る目的である事業連携協定の更新要望があり、更新を承認しました。

建築相談室から 四十

面接相談に至るまで

文 橋本頼幸

本会の相談室では、電話相談の他に面接相談(一回五、四〇〇円・事務局にて面談)と現地相談(一回三三、〇〇〇円または五五、〇〇〇円・現地に原則二人で赴く)があります。面接相談は、電話相談を聞きながら、面接のほうが相応しい、より正確な判断ができる、などといった理由で電話担当者が面接を勧めて、費用負担を了解いただいた方に事務局に来ていただくことで行っております。今月は、面接相談の中から特徴的なものを面接相談に至るまでとともにご紹介します。

典型的な面接による相談

一般の方が、工事中の建物で不安を感じてや、リフォームなどで業者が写真と見積もってきたけど判断がつかない、などが典型的な相談です。電話だけではイメージの共有ができず、現地に行くほどでもないが、写真で見せてもらえればより正確な判断ができるかもしれないというパターンで、一般消費者からの面談相談で多い相談です。法人や団体からの面接相談

昨今の建築事情も影響しているのですが、昨年、法人から二件の同様の相談がありました。一つは自社所有の事務所建物を用途変更によりホテルにしたい、もう一つは借りているフロアを用途変更したい(変更後の用途の記載は記録無し)、という相談でした。これも、電話相談ではやはり限界があるということ、相談者が法人であることから、相談者側も担当の複数人で相談に臨むこと、から面接相談になりがちです。同様に分譲マンションの管理組合などの団体も複数人の理事でヒアリングをする場合は面接相談のほうがいいケースもあります。

建物所有者からの面接相談は耐震診断が多い

建物所有者が耐震診断をしたい、という場合は、木造の場合は本会の耐震委員会に配転しますが、住宅以外の非木造の場合は面接相談になることがあります。築年数(新耐震か旧耐震か)や建物の構造種別、耐震診断の費用見込、などを非木造で判断するのは面接相談が確実です。

相談者が施工者の面接相談

リフォーム業者から「リフォームした住宅で結露が発生して施主ともめている」「エアコン業者の保険代理店からの相談で「八年前にエアコン取り付けの際に間柱を傷めていたことがわかった。エアコンの更新時にわかつて補修費用を請求された。相手と会う前に予備知識として知っておきたいことを教えてほしい」という相談がありました。

弁護士来訪の面接相談

「高低差のある隣地との境界に設置するブロックなどでもめている」「店舗経営者から店内工事が無茶苦茶な工事をされている」という相談で弁護士が来るケースもありました。こちらも電話相談では判断できないので、面接相談になったようです。

少し変わったケース

「バルコニー軒天に水漏れ跡が見られた。雨天時に点検口内を見ると水滴が落ちていた。晴れた日には見られないため、結露か雨漏れか判断つかない。」「現地相談日が雨天とは限らないので、まずは面談からという相談。面接相談の後、現地相談に移行しています。」「昨年八月に現地相談で長屋の切り離し解体工事の注意点を教えてもらった。その後解体が決まって解体業者と打ち合わせをすることになった。図面や写真・解体同意書などが届けられたが、わからないので相談したい。」「という方は面接相談でアドバイスを行っていました。

編集後記

武藤優哉

「建築人」のリニューアルに伴い、本誌の印刷をしていただいている中和印刷紙器株式会社様を見学させていただきました。印刷という技術が身近で、私たちの生活に彩りを与えているという事を実感しました。この場を借りて、改めて御礼申し上げます。

昨今では様々な分野において「紙離れ」が進みつつあります。電子書籍を始めとし、ICカード、電子マネー、そして建築図面においてもCADやBIMの登場により電子化されていると言えます。便利である一方、手触りの無いという物はどこか寂しさを感じる部分もあります。例えば、恋人にスマホで想いを伝えるよりは、ラブレターの方が気持ちがいよりのような気がする。そんな感覚に似ているのかもしれない。一括りにリニュアルとはいえず、継承すべき点については緻密な精査が必要です。それは建築においても同様で、新陳代謝の中にも残すべきものがあるはずです。

この「建築人」も建築も、「手触り」の感覚は大切にしながら、今後の編集活動に励みたいと思います。

建築人 8 2019

監修	公益社団法人大阪府建築士会		
	建築情報部門		
編集	建築情報部門『建築人』編集部		
	部門長	飯田英二	笠井志保 茂籠一之 橋本頼幸 三谷勝章 若江直生 母倉政美
	委員長	高原浩之	
	編集人代表	北 聖志	
	編集人	梅田武宏	
		河合哲夫	
		曾我部千鶴美	山本茂樹
		牧野隆義	
		武藤優哉	
事務局	山本茂樹		
印刷	中和印刷紙器株式会社		

morfa

無限に変化する、水のデザイン



morfa（モルファ）は、水栓・シャワー・アクセサリーを自在に組み合わせることができる画期的なコレクションです



トヨタカローラ新大阪名神茨木店 竹中工務店

大阪北摂エリアの国道171号線沿いに、ライフスタイル発信型の新たな車のショールームを計画した。敷地に引き込んだ道路は、構内をぐるりと一周することで試乗のためのテストドライブコースとなり、そのまま屋根の上へと連続し、屋外展示エリアを形成する。木質のテクスチャーで包まれたトンネル状の内部空間は、車を展示するほか、アウトドアショップやライブラリーを併設し、今まで車に興味がなかった人も立ち寄れるような場となっている。この計画では、車の動的体験を空間化したような、新たなモビリティ時代の「車と人の新しい関係」を創造したいと考えた。

カーブを描くテストドライブコースに沿ってショールームや整備工場といった内部空間を配置し、その空間を覆うように屋根を大きく張り出し、地面に接地することで、屋根の上を屋外展示場とすることにした。

形の決定プロセスでは、連動する複数の条件が同時に成立するようなパラメトリックにデザイン検証を行い、構造合理性、空調空気の流れ、照明計画等を重ねて計画・構造・設備の融合、施工の条件なども取込みながら全体の調整・建築的統合を図っている。

ここで生み出された新たな空間は、人の寸法だけではなく、車路の曲率、車路勾配といった車の寸法や動きを内包することによって生まれた新しいスケールを有し、平面に高さを与えるのではなく、車の動的体験を空間化するように立体をつくりだしている。

撮影：Nacasa&Partners Inc. NAKAMICHI ATSUSHI・母倉知樹(★)
第11回建築人賞受賞作品

■プロフィール

米津正臣（よねづ まさおみ）
1974年生まれ。1999年東京工業大学大学院修士課程修了、竹中工務店入社。現在、同社大阪本店設計部第3部門設計1グループ長。
三田村聡（みたむら さとし）
1986年生まれ。2009年名古屋市立大学芸術工学部都市環境デザイン学科卒業、2011年名古屋大学大学院修士課程修了、竹中工務店入社。現在、同社大阪本店設計部第6部門設計1グループ所属。

■建物データ

設計：竹中工務店
施工：竹中工務店
所在地：大阪府茨木市三咲町5番17号
主要用途：展示場
建築主：トヨタカローラ新大阪
敷地面積：5,905.49㎡
建築面積：2,143.11㎡
延床面積：1,978.70㎡
構造規模：鉄骨造 地上1階

